

**町田市民の保健医療意識調査に関する
概要報告**

2011年3月22日

目 次

1. 調査対象	1
2. 調査対象の抽出方法	1
3. 調査の時期と配布・回収方法	1
4. 回収状況	1
5. 回収票の属性	2
6. 主たる設問構成	3
7. 結果概要	4
1) 健康について（成人）	4
2) 子育てについて（青少年・未就学児）	6
3) 食生活について	8
4) たばこ・アルコールについて	10
5) 歯の健康について	12
6) 医療について	14
7) 薬について	16
8) 健康危機管理について	18
9) 町田市の保健・医療への取り組みについて	20
8. 前回調査との比較	22

1. 調査対象

対象者は次のとおりです。

- 成人 : 20歳代～70歳代まで（2011年1月1日現在：以下同じ） 1,500名
- 青少年 : 小学校1年生から19歳までのお子さんの保護者 1,000名
- 未就学児 : 就学前のお子さんの保護者 1,000名

2. 調査対象の抽出方法

住民基本台帳からの無作為抽出（層化2段）です。

3. 調査の時期と配布・回収方法

調査の時期と配布・回収方法は次のとおりです。

- 調査時期 : 2011年1月
- 配布・回収方法 : 郵送

4. 回収状況

3種全体で、回収率は46.1%でした。

（単位：件、%）

	配布数	回収数			回収率
		計	有効票	白票	
成人	1,500	562	561	1	37.5
青少年	1,000	491	491	0	49.1
未就学児	1,000	560	559	1	56.0
合計	3,500	1,613	1,611	2	46.1

■前回調査の配布・回収状況

- 成人 : 配布数：2,500 回収数：1,061 回収率 42.4%
- 小児用（未就学児）： 配布数：1,000 回収数： 548 回収率 54.8%
- 合計 : 配布数：3,500 回収数：1,609 回収率 46.0%

5. 回収票の属性

回収された各調査票の主たる属性は以下のとおりです。

(単位：件、%)

	成人			青少年			未就学児		
	区分	実数	構成比	区分	実数	構成比	区分	実数	構成比
性別	男	246	43.9	男	256	52.1	男	280	50.1
	女	309	55.1	女	231	47.0	女	277	49.6
年齢	20歳代	66	11.8	6～12歳	255	51.9	0歳	81	14.5
	30歳代	106	18.9	13～15歳	105	21.4	1歳	81	14.5
	40歳代	126	22.5	16～19歳	129	26.3	2歳	81	14.5
	50歳代	83	14.8	—	—	—	3歳	89	15.9
	60歳代	101	18.0	—	—	—	4歳	89	15.9
	70歳代	76	13.5	—	—	—	5歳	78	14.0
	—	—	—	—	—	—	6歳	59	10.6
居住地区	堺	60	10.7	堺	45	9.2	堺	80	14.3
	忠生	109	19.4	忠生	90	18.3	忠生	96	17.2
	町田	111	19.8	町田	101	20.6	町田	98	17.5
	鶴川	168	29.9	鶴川	124	25.3	鶴川	134	24.0
	南	106	18.9	南	128	26.1	南	150	26.8

注1：性別・年齢別については、「成人：回答者」、「青少年と未就学児はお子さんの年齢」で分類している。なお、青少年の6歳は基準日が1月1日のため、一部就学児が含まれる。

注2：構成比は不明票を含めた構成比で示しているので合計値が100.0%にならない場合もある。

6. 主たる設問構成

主たる質問構成は次のとおりです。

注1) 表中の「**太字**」は結果をコメントや図表で掲載しているもの。

注2) 「頁」は掲載している該当頁。

【成人】

テーマ	主たる設問項目	頁
属性	性別、年齢 、職業、家族構成、 居住地区 、居住年数 等	2
日常生活	身体活動、運動 等	—
食生活	食生活で気を付けていること 、乳製品や野菜の摂取、 BMI 等	8
健康	運動の有無・頻度、運動の同伴者、運動をしない理由 、健康情報の入手先、ストレスの有無、睡眠、相談相手 等	4
たばこ・アルコール	喫煙、飲酒 等	10
地域活動	地域の愛着度、地域での活動状況 等	—
健康診断	受診状況、健診情報の入手先 等	—
歯の健康	8020 運動の認知度、誤嚥性肺炎の予防に関する認知度、かかりつけ歯科医 等	12
医療	かかりつけ医、救急対応、町田市民病院の認知度や要望、市の医療機関の満足度 等	14
薬	かかりつけ薬局、お薬手帳 等	16
健康危機管理	インフルエンザ対応、薬物、救命講習、食品安全 等	18
市の保健・医療への取組	子育て支援、各種健診体制、市民の健康づくり、食育、地域の医療情報、緊急時の救急医療体制、感染症発生、総合評価	22

【青少年】

テーマ	主たる設問項目	頁
属性	性別、年齢 、職業、家族構成、 居住地区 、居住年数 等	2
子育て	子育ての楽しさ、ストレス、相談相手、乳幼児期にあつたらいい講座、睡眠 等	6
子どもとの関係	子どもとの会話・食事・活動、子どもの夢、しつけ、相談 等	—
子どもの食生活	食生活で気をつけていること	8
歯の健康	嗜好物、歯磨き、かかりつけ歯科医、食習慣 等	12
たばこ・アルコール	保護者の喫煙、飲酒 等	10
医療	かかりつけ医、救急対応、町田市民病院の認知度や要望、市の医療機関の満足度 等	14
薬	かかりつけ薬局、お薬手帳 等	16
健康危機管理	インフルエンザ対応、薬物、救命講習、食品安全 等	18
市の保健・医療への取組	子育て支援、各種健診体制、市民の健康づくり、食育、地域の医療情報、緊急時の救急医療体制、感染症発生、総合評価	22

【未就学児】

テーマ	主たる設問項目	頁
属性	性別、年齢 、職業、家族構成、 居住地区 、居住年数 等	2
子育て	子育ての楽しさ、ストレス、相談相手、睡眠、子育ての留意点、子育てサークル等の参加、子育て講座 等	6
予防接種	接種状況、公費負担、接種場所 等	—
子どもの食生活	食生活で気をつけていること	8
歯の健康	嗜好物、歯磨き、かかりつけ歯科医、食習慣 等	12
たばこ・アルコール	保護者の喫煙、飲酒 等	10
医療	かかりつけ医、救急対応、町田市民病院の認知度や要望、市の医療機関の満足度 等	14
薬	かかりつけ薬局、お薬手帳 等	16
健康危機管理	インフルエンザ対応、薬物、救命講習、食品安全 等	18
市の保健・医療への取組	子育て支援、各種健診体制、市民の健康づくり、食育、地域の医療情報、緊急時の救急医療体制、感染症発生、総合評価	22

7. 結果概要

1) 健康について（成人）

【解説】

【健康のための身体活動・運動の実施の有無】

- 「はい」と「いいえ」はほぼ半々となっています。
- 20～50代では「いいえ」が多くなっていますが、「60代以上」になると、逆に「はい」が多くなっています。

【身体活動・運動の頻度】

- 身体活動・運動を行っている人の頻度については、「週に3回以上」が37.0%で最も多くなっています。

【身体活動・運動は誰とやるか】

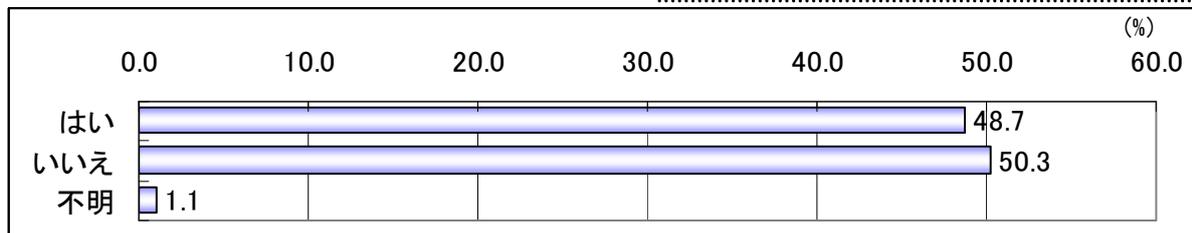
- 「一人で」が59.0%で最も多く、次いで「友人や家族と」（28.0%）となっています。

【身体活動・運動をやっていない理由】

- 身体活動・運動をやっていない人の理由では「時間がない」が61.0%と最も多くなっています。

注) SAとはシングルアンサーの略で選択肢が一つ、MAとはマルチアンサーの略で選択肢が複数のもの。

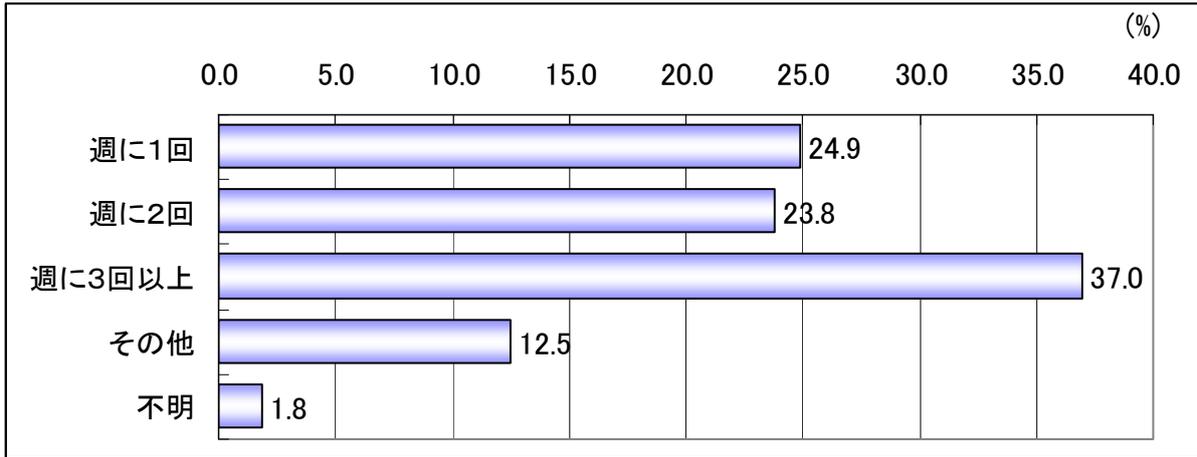
● 健康のための身体活動・運動の実施の有無(SA)



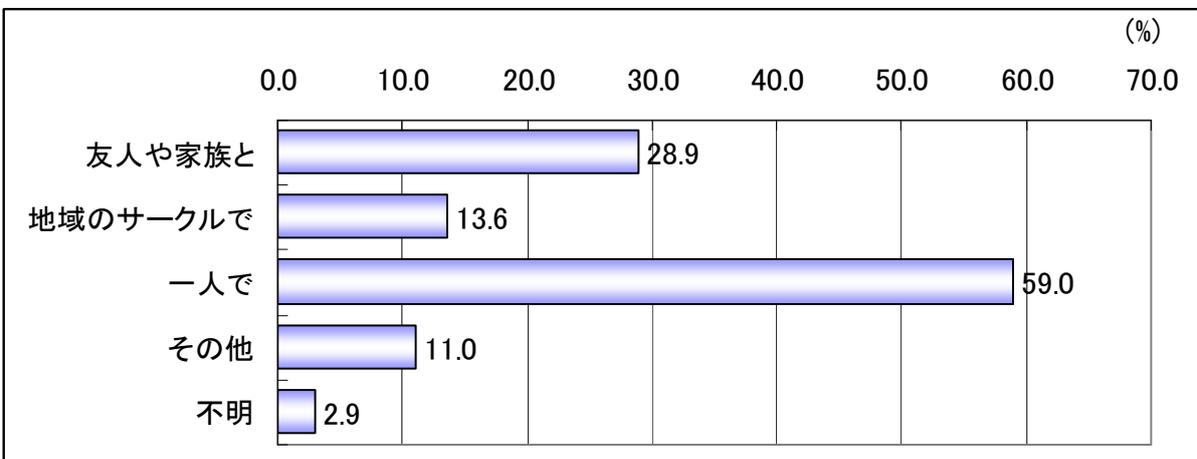
		全体	健康のため身体活動・運動を行っているか		
			はい	いいえ	不明
合計		561 100.0	273 48.7	282 50.3	6 1.1
男性	計	246 100.0	122 49.6	120 48.8	4 1.6
	20代	27 100.0	13 48.1	14 51.9	0 0.0
	30代	43 100.0	15 34.9	26 60.5	2 4.7
	40代	52 100.0	19 36.5	33 63.5	0 0.0
	50代	36 100.0	15 41.7	21 58.3	0 0.0
	60代	51 100.0	30 58.8	19 37.3	2 3.9
	70代	37 100.0	30 81.1	7 18.9	0 0.0
	女性	計	309 100.0	150 48.5	158 51.1
20代		38 100.0	17 44.7	21 55.3	0 0.0
30代		63 100.0	25 39.7	38 60.3	0 0.0
40代		72 100.0	25 34.7	47 65.3	0 0.0
50代		47 100.0	22 46.8	24 51.1	1 2.1
60代		50 100.0	34 68.0	16 32.0	0 0.0
70代		38 100.0	26 68.4	12 31.6	0 0.0

(上段は実数、下段は構成比。■ は最も多いもの。以下の掲載表も同じ)

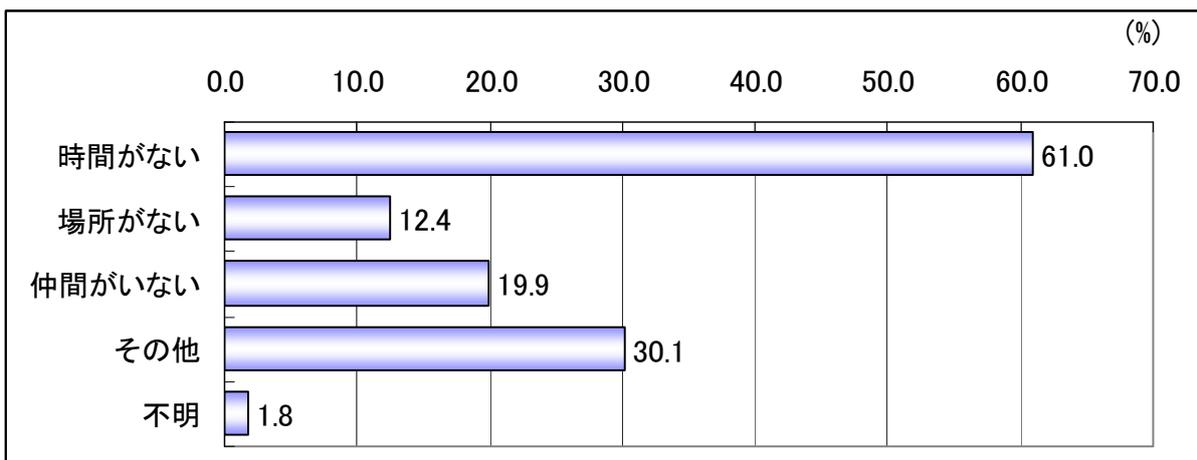
● 身体活動・運動の頻度 (SA)



● 身体活動・運動は誰とやるか (MA)



● 身体活動・運動をやっていない理由 (MA)



2) 子育てについて（青少年・未就学児）

【解説】

【子育ては楽しいか】

- 子育ては楽しいという「はい」が青少年も未就学児も8割前後占め、「いいえ」はほとんどありません。

【子育てにストレスを感じるか】

- 子育てのストレスについては、7～8割近くがストレスを感じており、感じないという「いいえ」は、青少年で16.3%、未就学児では11.8%と、1割台になっています。

【ストレスの内容は】

- ストレスの内容で主な要因となっているものは「自分の時間がとれない」、「経済的にゆとりがない」、「精神的にゆとりがない」となっています。

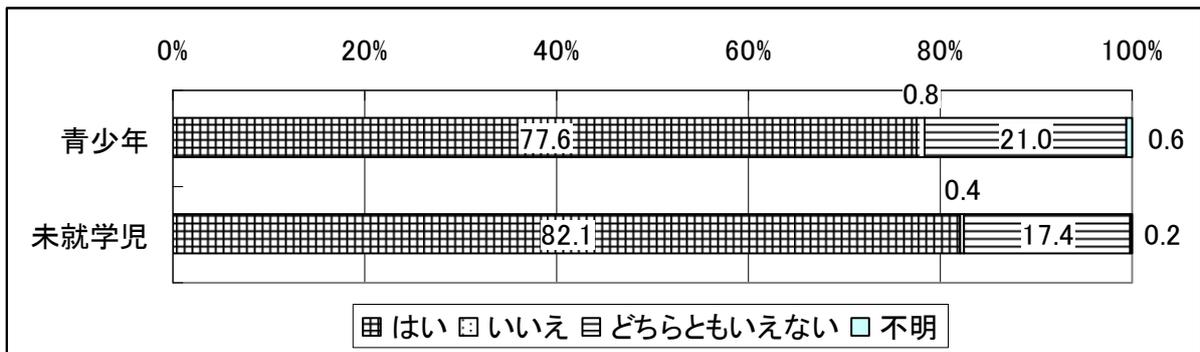
【相談相手は誰か】

- 子育ての悩み事等の相談は相手も、青少年も未就学児もほぼ共通して「配偶者」・「友人」・「実家」の3つに集中しています。また、未就学児は「実家」（61.2%）の割合が青少年に比べ20ポイント近く高くなっています。

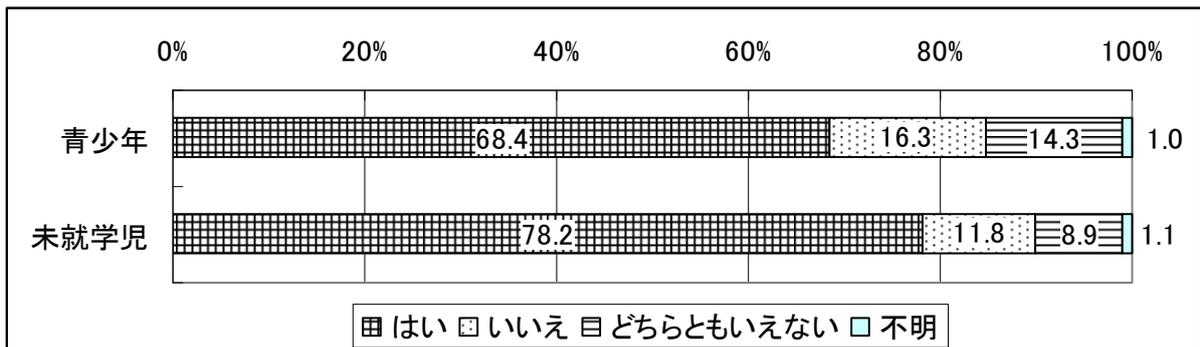
【乳幼児期にあったらいいと思う講座等(青少年)】

- 「病気や怪我に関する講座」（47.0%）、「心と体の発達に関する講座」（34.4%）、「アレルギーに関する講座」（34.0%）が上位3つとなっています。

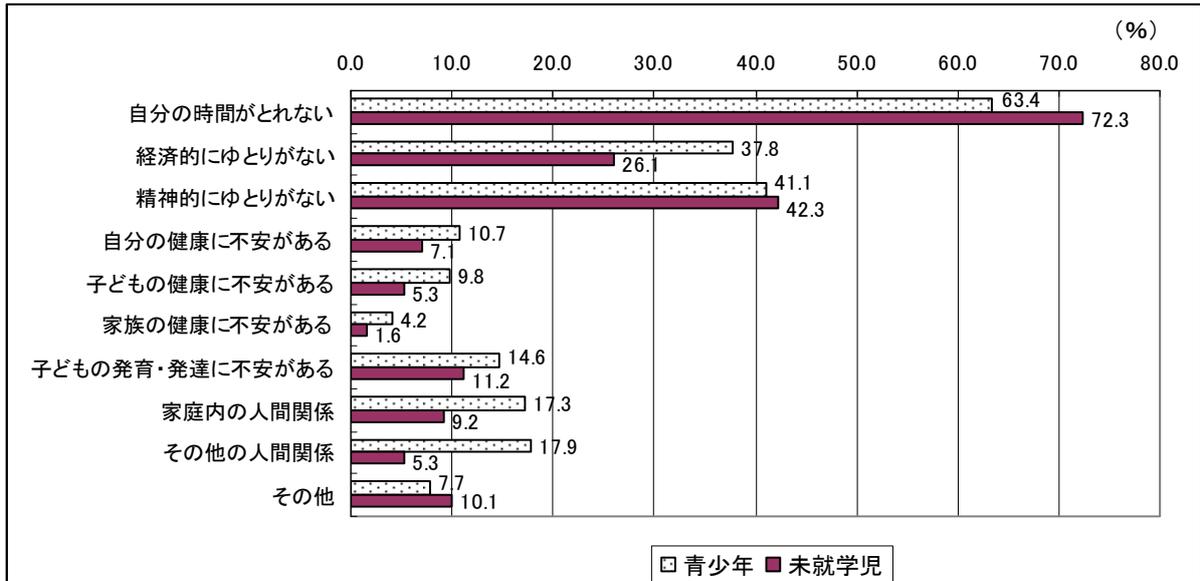
● 子育ては楽しいか(SA)



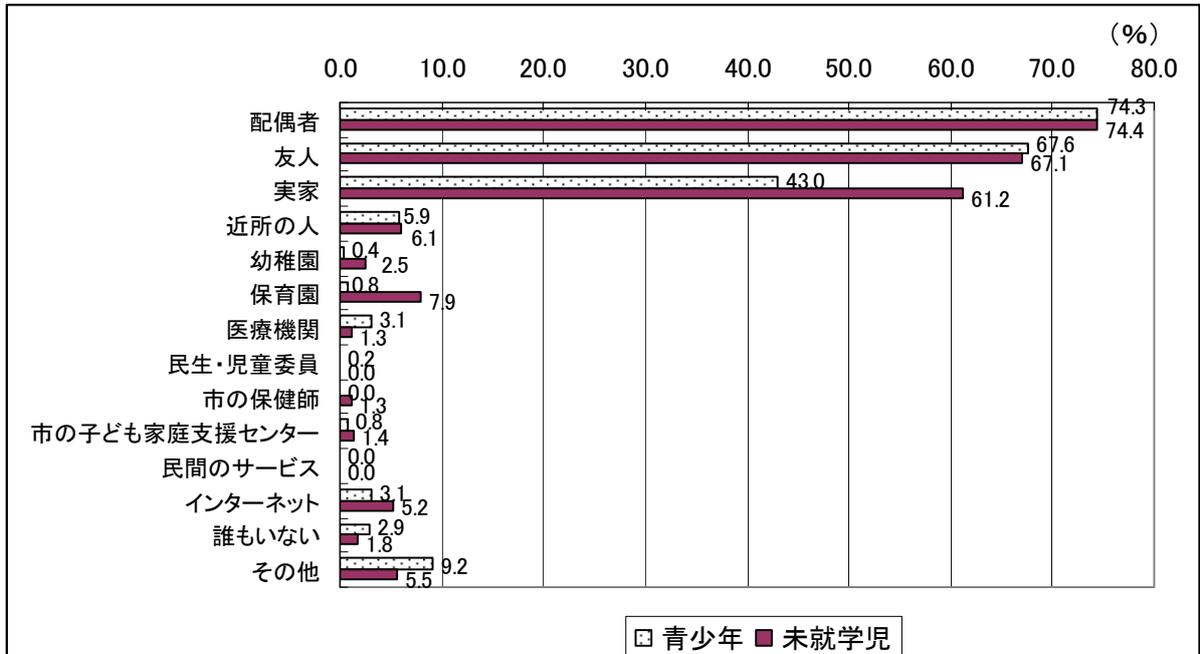
● 子育てにストレスを感じるか(SA)



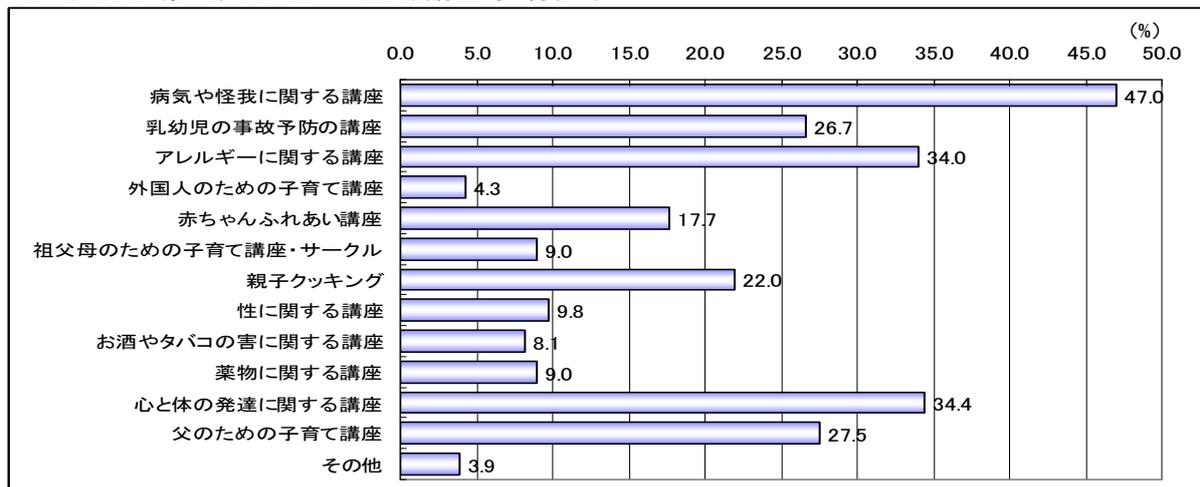
● ストレスの内容は(MA)



● 相談相手は誰か(MA)



● 乳幼児期にあっというと思う講座等(青少年) (MA)



3) 食生活について

【解説】

【成人】

- 「朝食をきちんと食べる」(74.7%)、「食事時間がほぼ決まっている」(64.9%)、「夕食は午後9時前に食べる」(64.3%)については、気をつけている割合が高くなっています。一方、「栄養成分表示を参考にする」(16.0%)、「栄養のバランス等を考えて食事する」(36.5%)、「腹八分目の食事にする」(38.0%)については、やや意識が低い傾向がみられます。
- BMIをみると、「肥満」の該当が15.7%、「低体重(やせ)」が8.2%となっています。「肥満」は男性の50代に特に多く、「やせ」は女性の各年齢層にみられます。

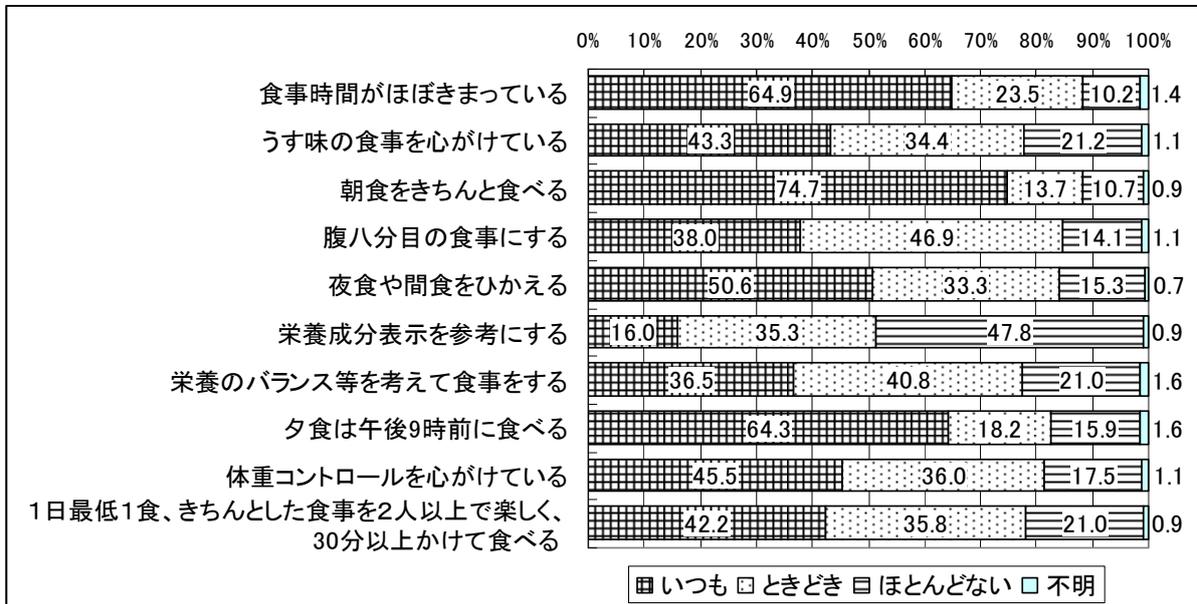
【青少年】

- 「朝食をきちんと食べる」(89.8%)、「食事をおいしそうに食べる」(72.5%)、「食事時間はほぼ決まって食べる」(70.1%)については7割以上がいつも気をつけています。一方、「うす味の食事を心がけている」(34.6%)、「よくかんで食べる」(44.6%)については、やや意識が低くなっています。

【未就学児】

- 「朝食をきちんと食べる」(88.4%)、「食事時間はほぼ決まっている」(75.1%)については8割前後がいつも気をつけていますが、その他の項目については、やや意識が低くなっています。

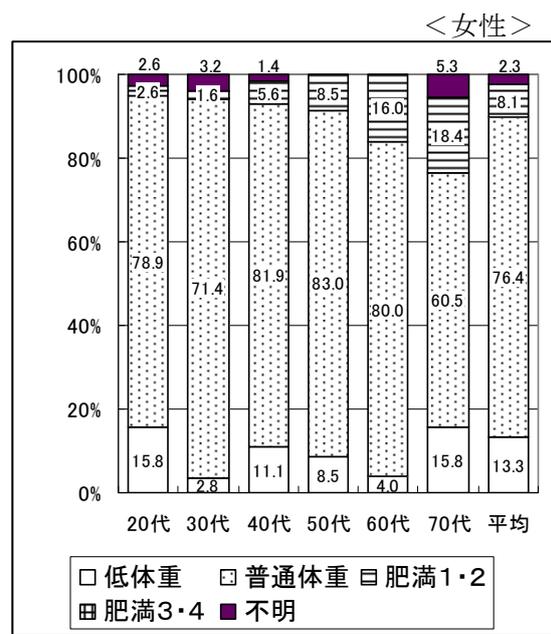
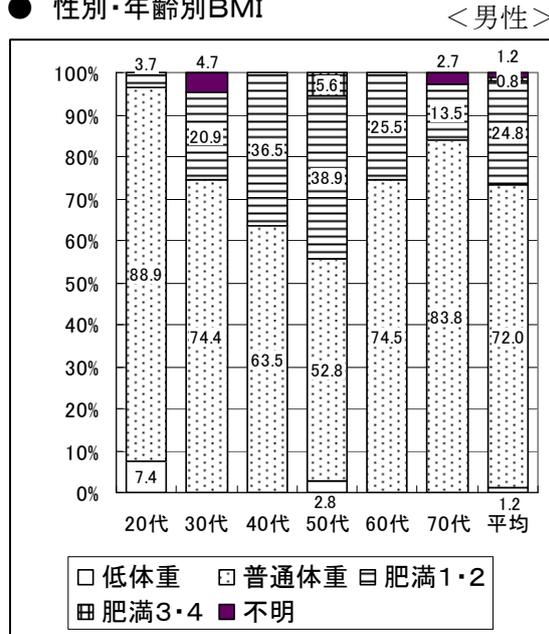
● 成人の食生活に関する意識(SA)



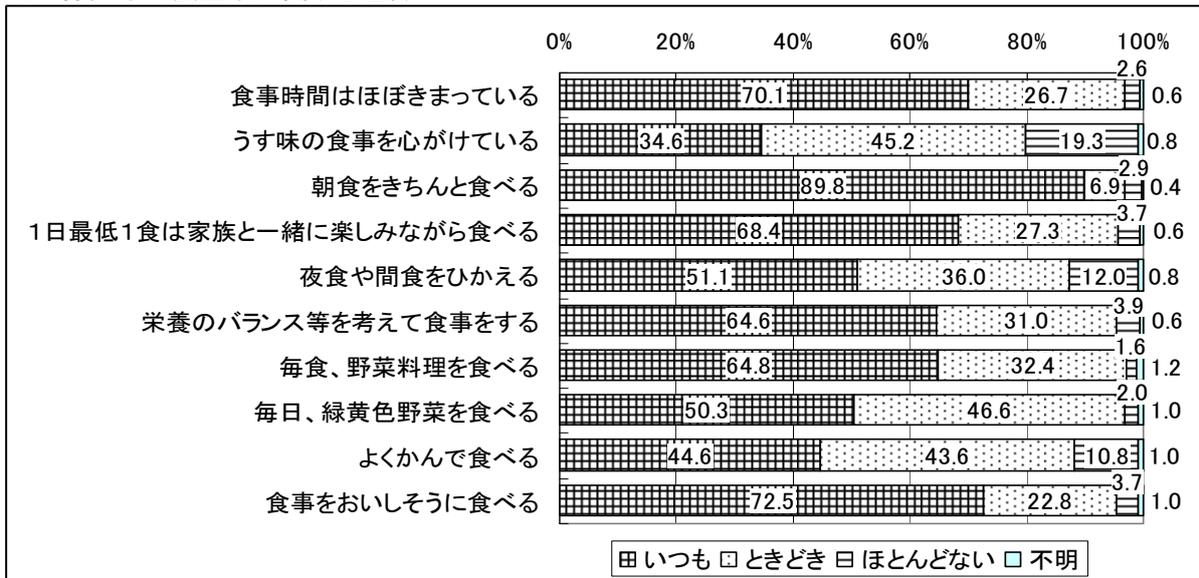
● 成人のBMI

カテゴリー名	n	%
低体重(やせ) : 18.5未満	46	8.2
普通体重 : 18.5以上25未満	417	74.3
肥満(1度) : 25以上30未満	78	13.9
肥満(2度) : 30以上35未満	8	1.4
肥満(3度) : 35以上40未満	2	0.4
肥満(4度) : 40以上	0	0.0
不明	10	1.8
全体	561	100.0

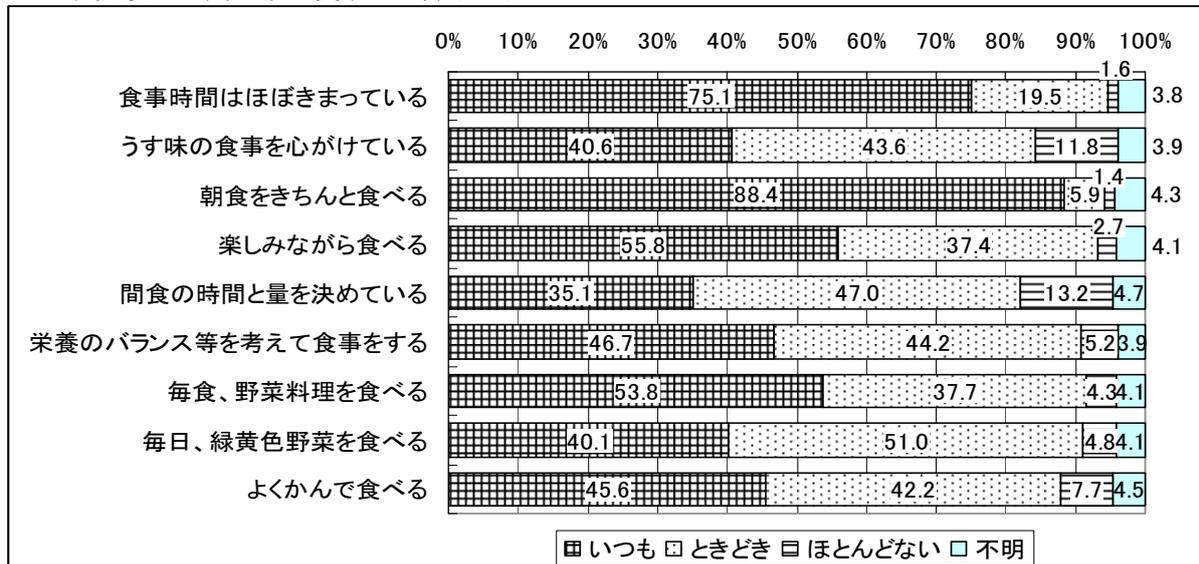
● 性別・年齢別BMI



● 青少年の食生活に関する意識(SA)



● 未就学児の食生活に関する意識(SA)



4) たばこ・アルコールについて

【解説】

【たばこについて】

- 成人の喫煙率は2割弱になっていますが、青少年及び未就学児では両親の喫煙率が4割前後みられます。（注：成人は宛名本人の喫煙状況となっているが、青少年・未就学児は父親及び母親の喫煙状況となっているため、厳密には同じ基準では評価できない。）

【アルコールについて】

- 成人・青少年・未就学児ともに「飲んでいない」というのが3～4割前後になっていますが、一方、「ほぼ毎日飲む」というのも成人では20.7%、青少年では39.9%、未就学児では32.7%あります。（注：成人は宛名本人の飲酒状況となっているが、青少年・未就学児は父親及び母親の飲酒状況となっているため、厳密には同じ基準では評価できない。）

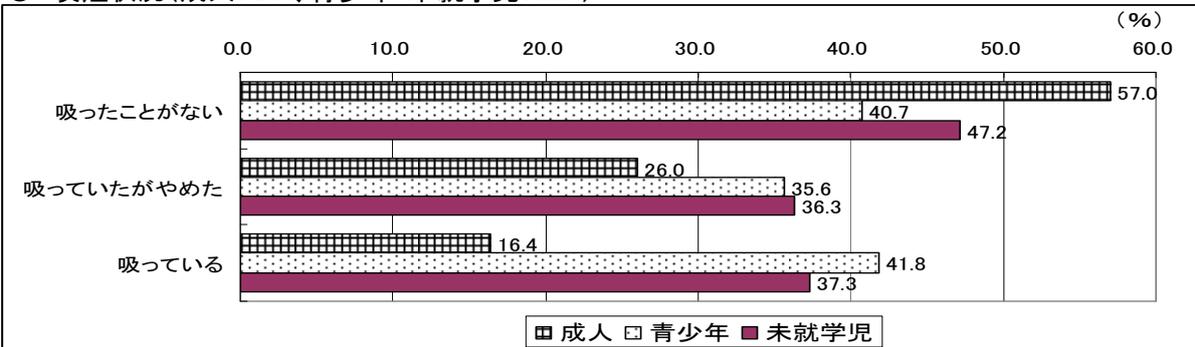
【母親の妊娠・授乳期間中のたばこについて】

- たばこについては、妊娠中より授乳期間中のほうが若干喫煙状況は下がっていますが、概ね変わりなく、この期間中に喫煙をしている人は2割程度いることになります。

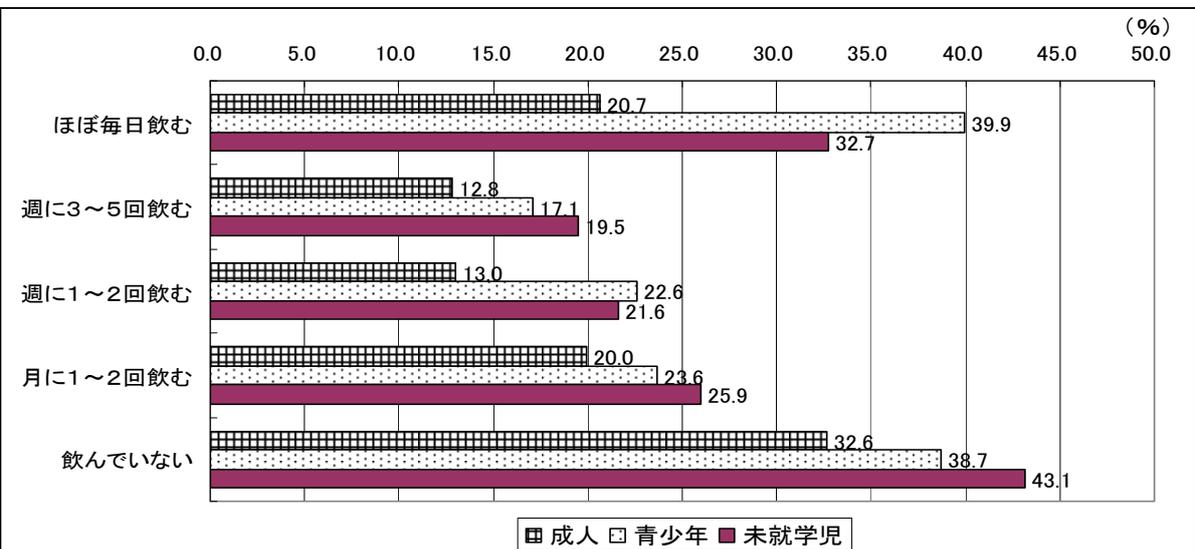
【母親の妊娠・授乳期間中のアルコールについて】

- たばこよりはアルコールの方がやや禁酒率は高くなっていますが、それでもこの期間中に飲酒をしている人は2割弱程度みられます。

● 喫煙状況(成人:SA、青少年・未就学児:MA)

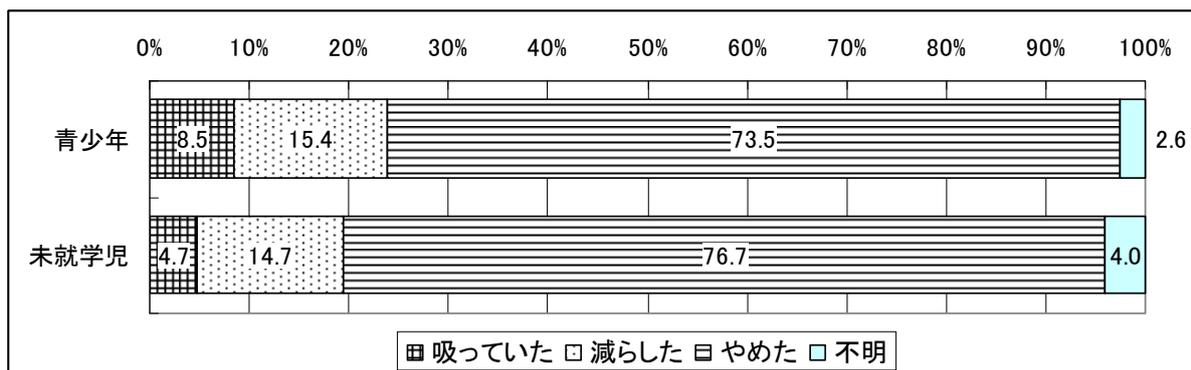


● 飲酒状況(成人:SA、青少年・未就学児はMA)

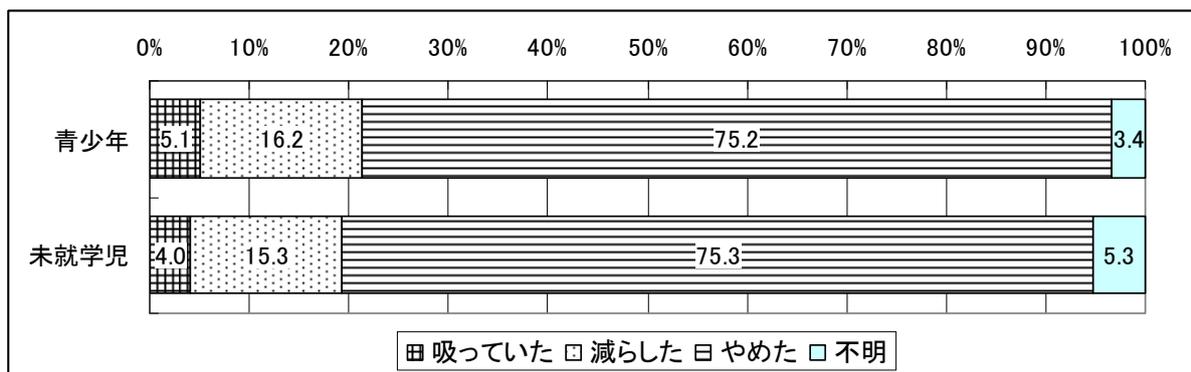


● 母親の妊娠・授乳期間中の喫煙状況(SA)

<妊娠中>

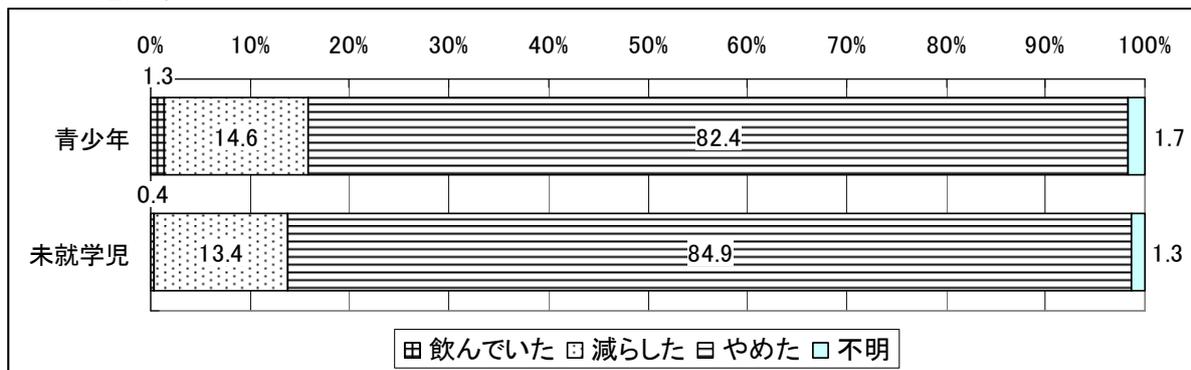


<授乳期間中>

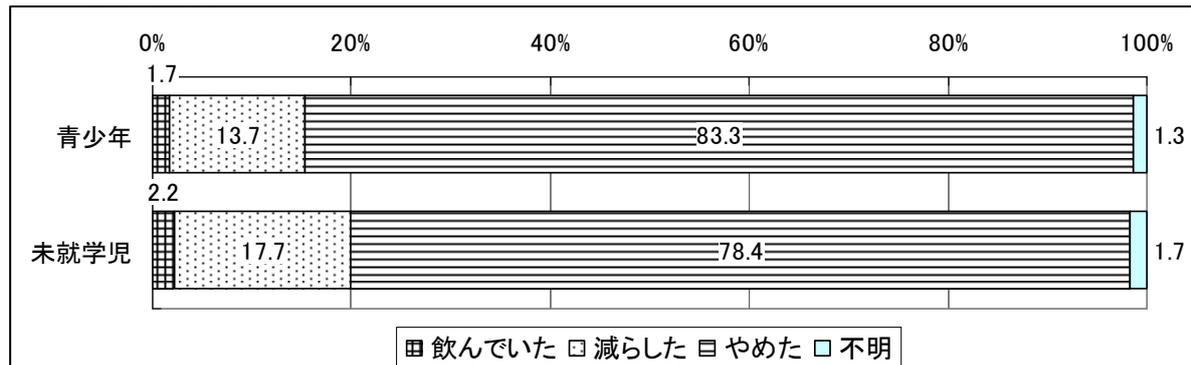


● 母親の妊娠・授乳期間中の飲酒状況(SA)

<妊娠中>



<授乳期間中>



5) 歯の健康について

【解説】

【8020 運動の認知度(成人)】

- 「知っていた」が女性は53.4%、男性は37.4%で認知度に差があります。その結果、「知っていた」は、全体で46.2%で半数を切っています。

【誤嚥性肺炎の予防に関する認知度(成人)】

- 50代以上の女性では「知っていた」が4割を超えていますが、全体では「知っていた」が24.2%という低い認知度になっています。

【甘いお菓子を1週間のうちどれくらい食べるか(青少年・未就学児)】

- 甘いお菓子を食べるのは青少年の方が割合が多く、「ほぼ毎日」が31.6%で、「食べていない」はほとんどありません。一方、未就学児は「ほぼ毎日」が22.7%ありますが、「食べていない」も23.3%となっています。

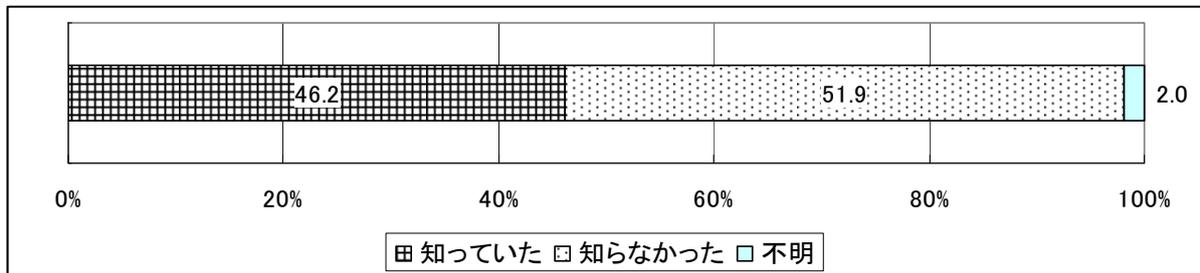
【甘い飲み物を1週間のうちどれくらい飲むか(青少年・未就学児)】

- お菓子よりは摂取頻度が少なくなっており、最も多いのは青少年・未就学児ともに「週に1～2日」が最も多く3～4割程度で、「ほぼ毎日」はともに2割前後となっています。

【かかりつけ歯科医院の有無】

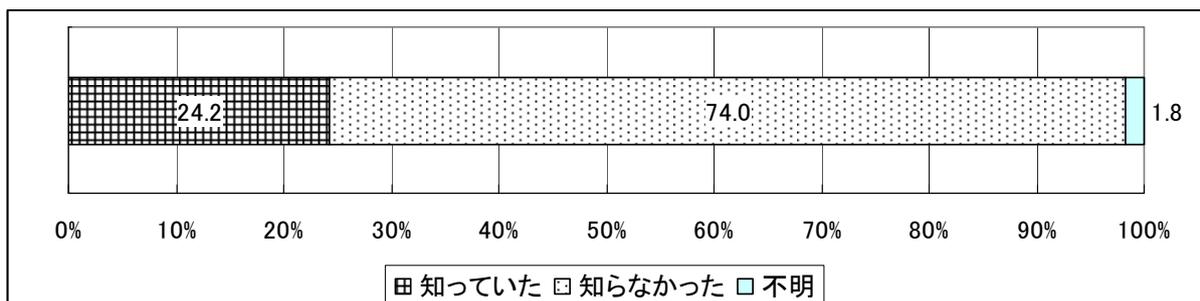
- 成人と青少年は「決めている」が7～8割となっています。未就学児では「決めている」のは40.4%です。

● 8020 運動の認知度(成人) (SA)



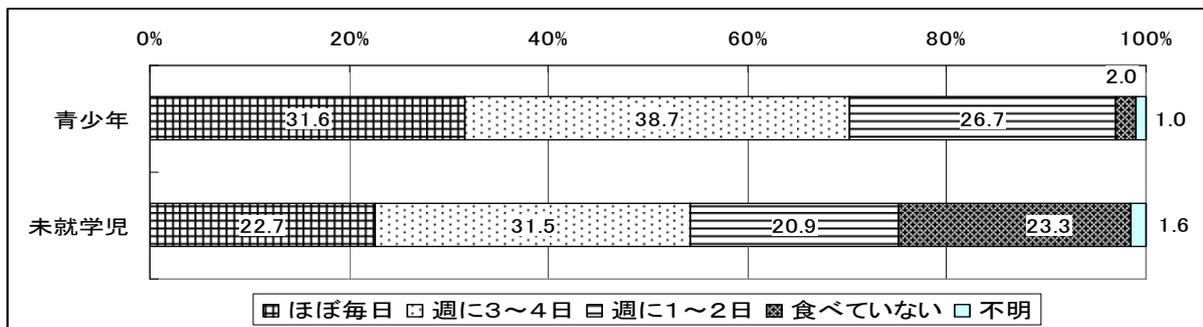
	全体	「8020」を知っているか		
		知っていた	知らなかった	不明
合計	561 100.0	259 46.2	291 51.9	11 2.0
男性	246 100.0	92 37.4	150 61.0	4 1.6
女性	309 100.0	165 53.4	137 44.3	7 2.3

● 誤嚥性肺炎の予防に関する認知度(成人) (SA)

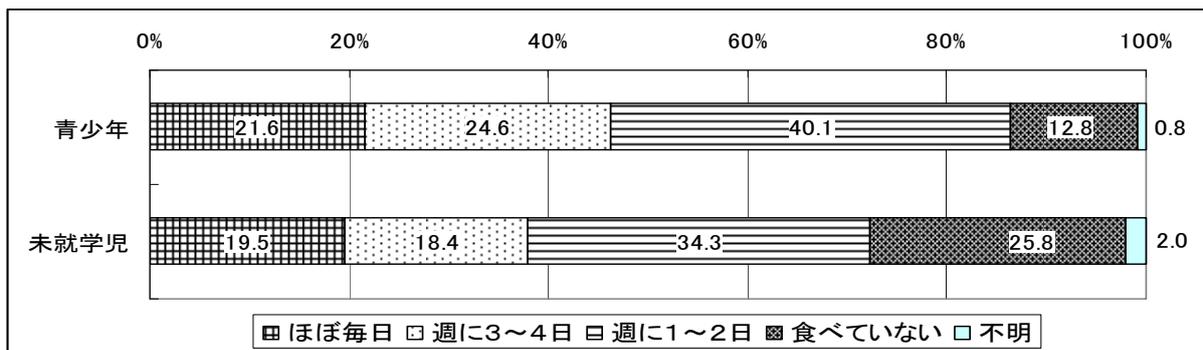


		全体	誤嚥性肺炎の予防に歯、入れ歯等を清潔にすることを知っていたか		
			知っていた	知らなかった	不明
合計		561 100.0	136 24.2	415 74.0	10 1.8
男性	計	246 100.0	44 17.9	198 80.5	4 1.6
	20代	27 100.0	3 11.1	24 88.9	0 0.0
	30代	43 100.0	6 14.0	35 81.4	2 4.7
	40代	52 100.0	4 7.7	48 92.3	0 0.0
	50代	36 100.0	7 19.4	28 77.8	1 2.8
	60代	51 100.0	11 21.6	40 78.4	0 0.0
	70代	37 100.0	13 35.1	23 62.2	1 2.7
	女性	計	309 100.0	91 29.4	212 68.6
20代		38 100.0	4 10.5	34 89.5	0 0.0
30代		63 100.0	9 14.3	53 84.1	1 1.6
40代		72 100.0	16 22.2	54 75.0	2 2.8
50代		47 100.0	20 42.6	26 55.3	1 2.1
60代		50 100.0	22 44.0	28 56.0	0 0.0
70代		38 100.0	20 52.6	16 42.1	2 5.3

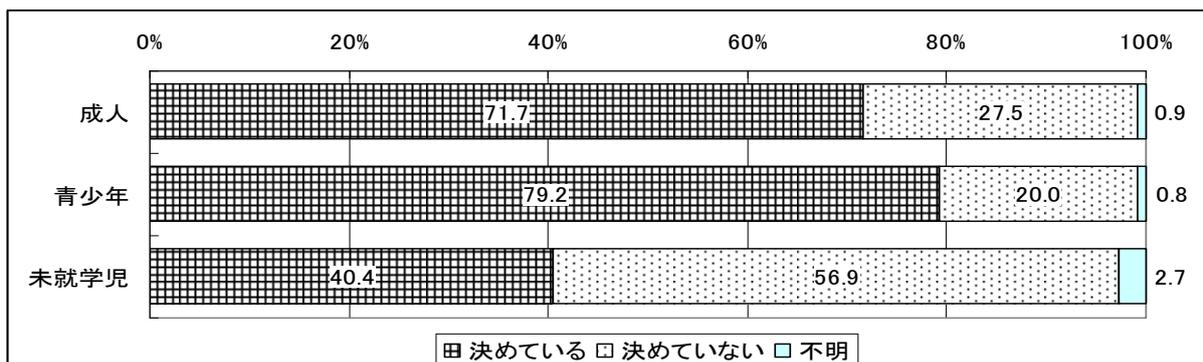
● 甘いお菓子を1週間のうちどれくらい食べるか(青少年・未就学) (SA)



● 甘い飲み物を1週間のうちどれくらい飲むか(青少年・未就学) (SA)



● かかりつけ歯科医院の有無 (SA)



6) 医療について

【解説】

【かかりつけ医の有無】

- 成人・青少年・未就学児ともかかりつけ医は「決めている」が多くを占めていますが、その割合は子どもの年齢が下がるほど多くなり、未就学児では91.4%となっています。

【休日や夜間の救急対応】

- 「救急医療機関や休日・救急当番医を受診した」と「安静にし、様子を見て翌日医療機関を受診した」という対応が多くなっていますが、未就学児では「町田市医師会準夜急患こどもクリニックを受診した」というのも25.8%となっています。

【町田市民病院の二次医療機関としての認知度】

- 成人・青少年・未就学児のいずれも「知っている」というのは半数に満たしておらず、必ずしも認知度は高くありません。

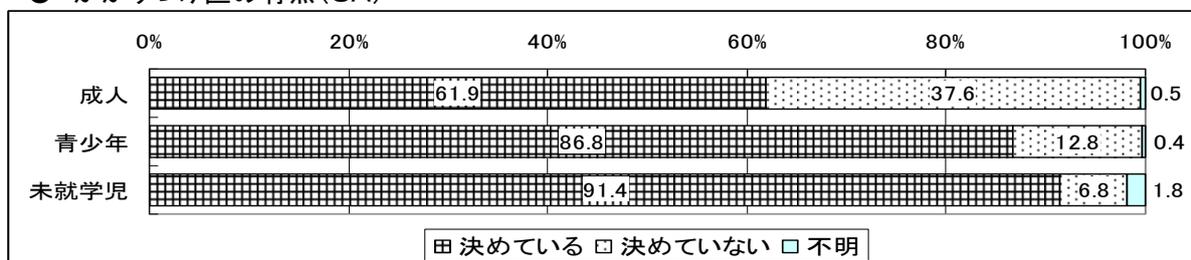
【町田市民病院に充実して欲しい役割】

- 成人と青少年では「救急医療」が最も多くなっていますが、未就学児では、「小児（救急）医療」を望む割合がとりわけ多くなっています。

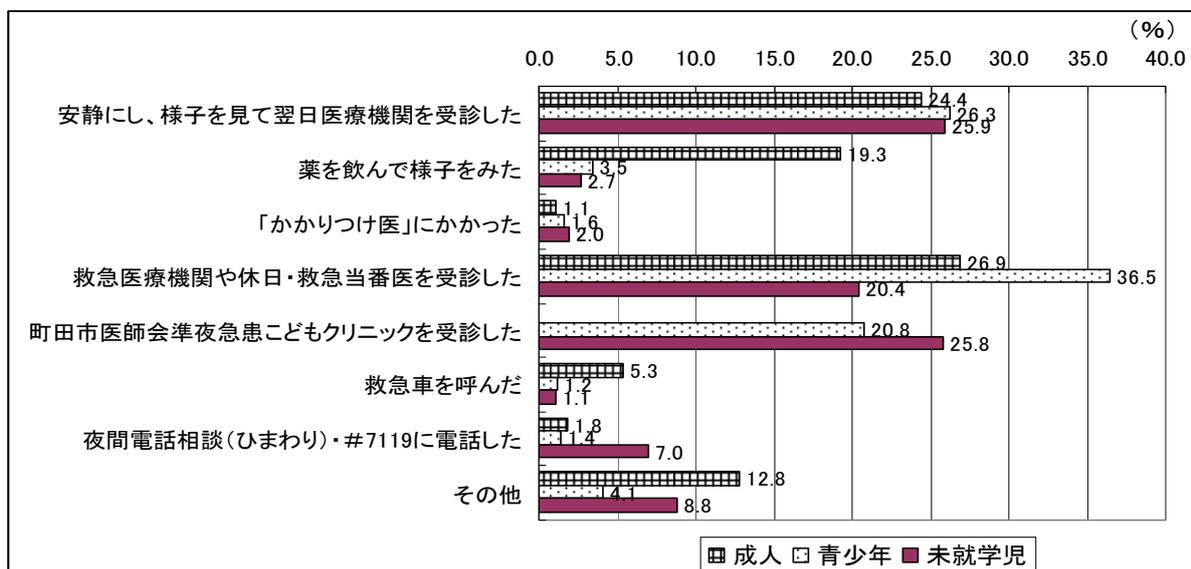
【町田市内の医療機関の量や質に対する満足度】

- 成人・青少年・未就学児のいずれも「どちらともいえない」が4割前後を占め最も多くなっていますが、「はい（満足）」が1割前後に対し、「いいえ」が3割前後あるところからみると、やや不満の傾向が高いように見受けられます。

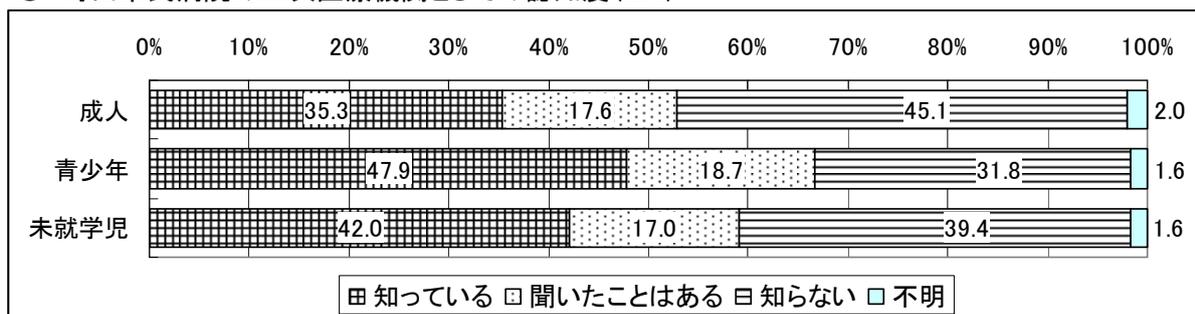
● かかりつけ医の有無(SA)



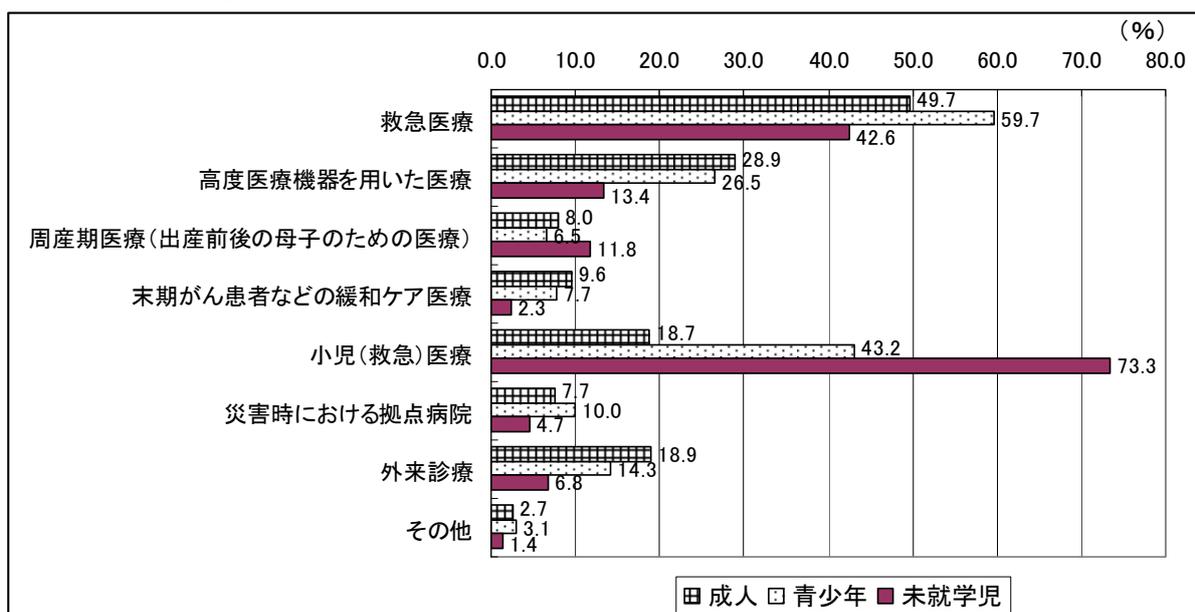
● 休日や夜間の救急対応(MA)



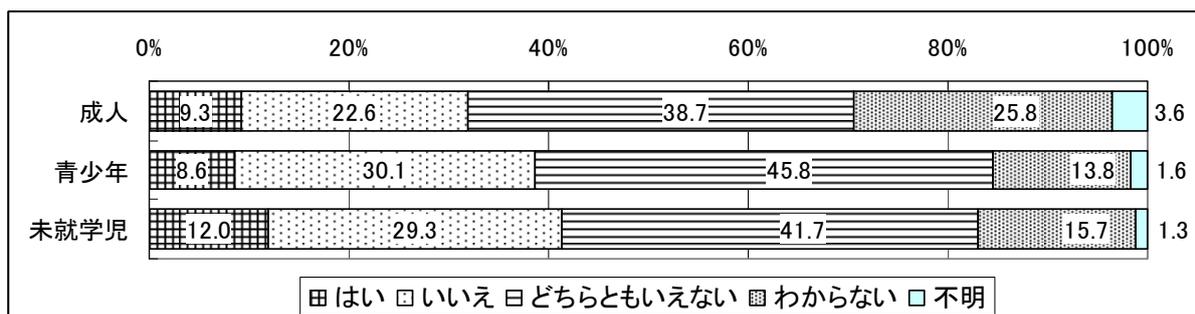
● 町田市民病院の二次医療機関としての認知度(SA)



● 町田市民病院に充実して欲しい役割(MA)



● 町田市内の医療機関の量や質に対する満足度(SA)



7) 薬について

【解説】

【かかりつけ薬局の有無】

- 成人・青少年・未就学児ともほぼ同じ傾向で、「医療機関の近くの薬局をそのつど利用している」が7割前後、「1か所に決めている」が2割強となっています。

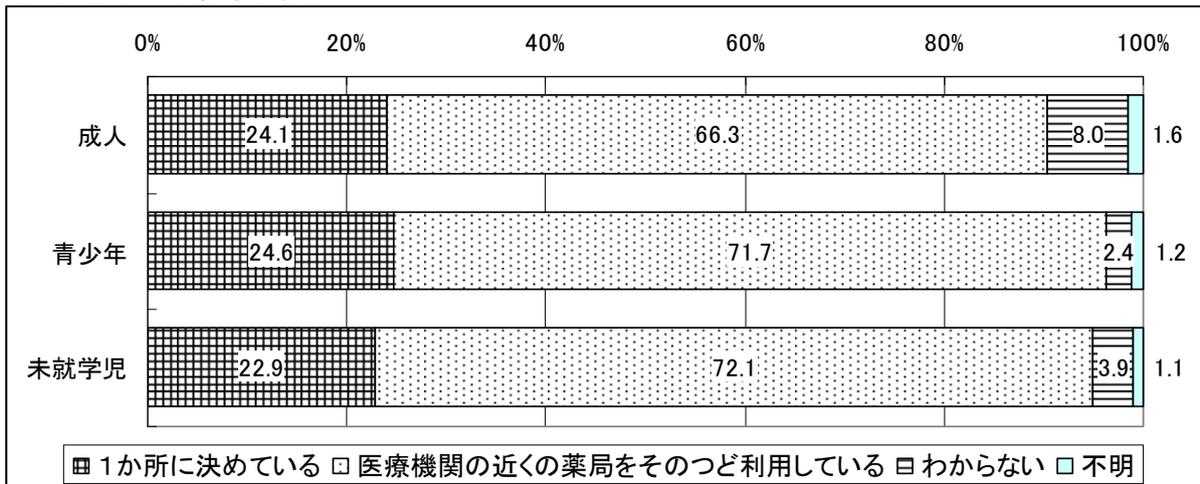
【お薬手帳の有無】

- お薬手帳については違いがみられ、手帳の所持者は成人は60.6%、青少年は73.3%、未就学児は90.2%と年齢層が下がるほど手帳所持の割合は高まる傾向となっています。

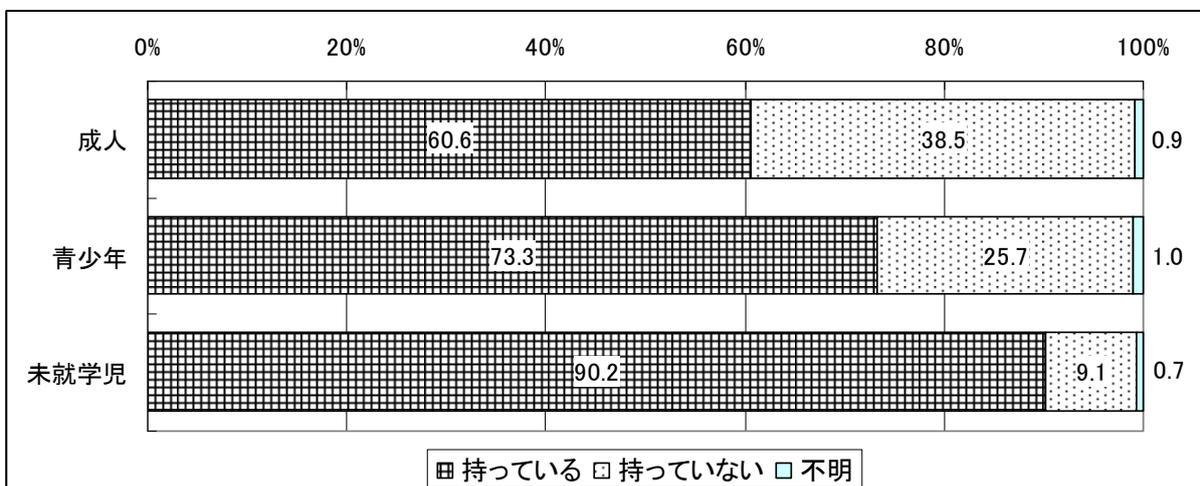
【お薬手帳の活用の有無】

- 手帳の活用についても違いがみられ、病院や薬局等に提出しているのは成人は60.6%、青少年は69.7%、未就学児は84.7%と年齢層が下がるほど手帳を活用していることが伺われます。

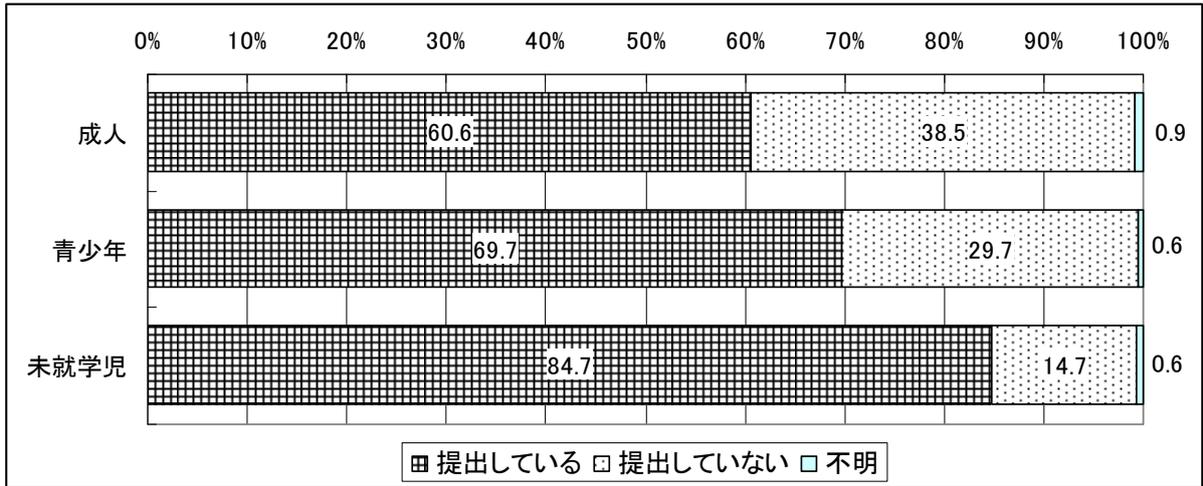
● かかりつけ薬局の有無(SA)



● お薬手帳の有無(SA)



● お薬手帳の活用の有無(SA)



8) 健康危機管理について

【解説】

【2009年の新型インフルエンザについての情報の入手先】

- 成人・青少年・未就学児ともに「テレビ」が圧倒的に多く9割近くを占め、次いで「新聞」となっています。その次には「インターネット」及び「友人・知人」がそれぞれ3割弱ずつ占めている傾向も同じとなっています。

【薬物問題への関心度】

- 成人・青少年・未就学児ともに関心があるという「はい」が半数は超えています。一方半数近くは無関心という結果になっています。

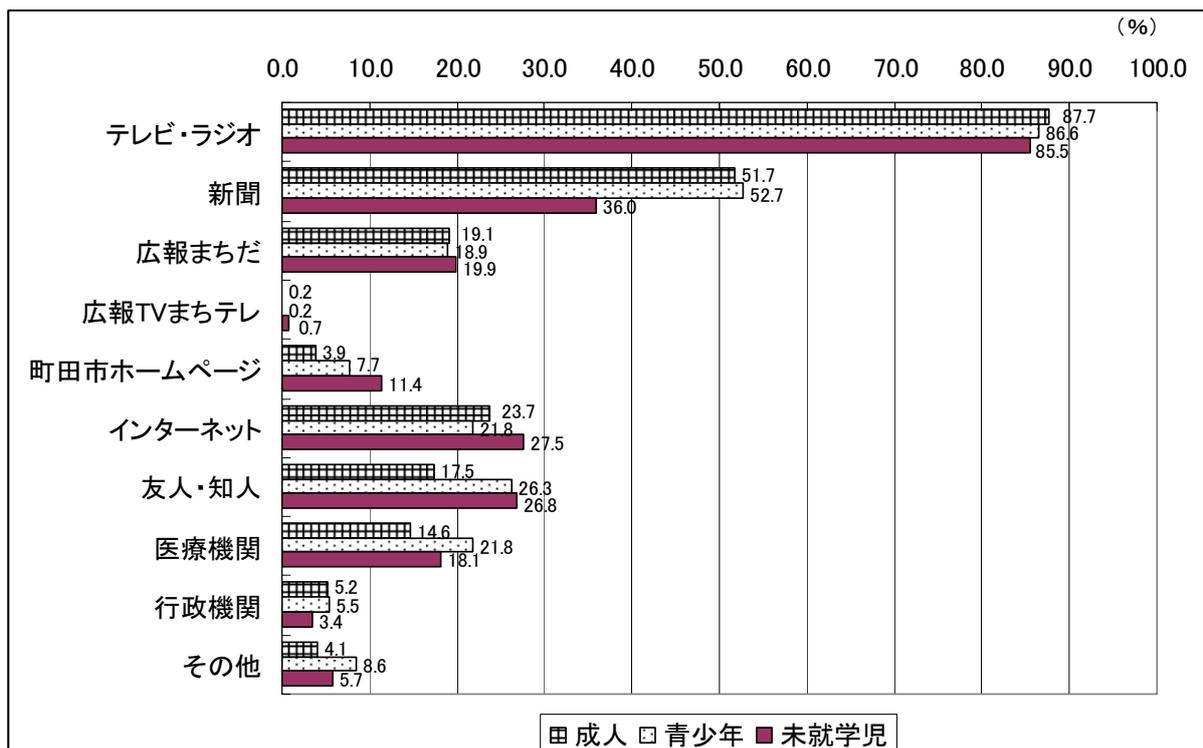
【救命講習の受講経験】

- 受講経験では、青少年は半数を超えています。

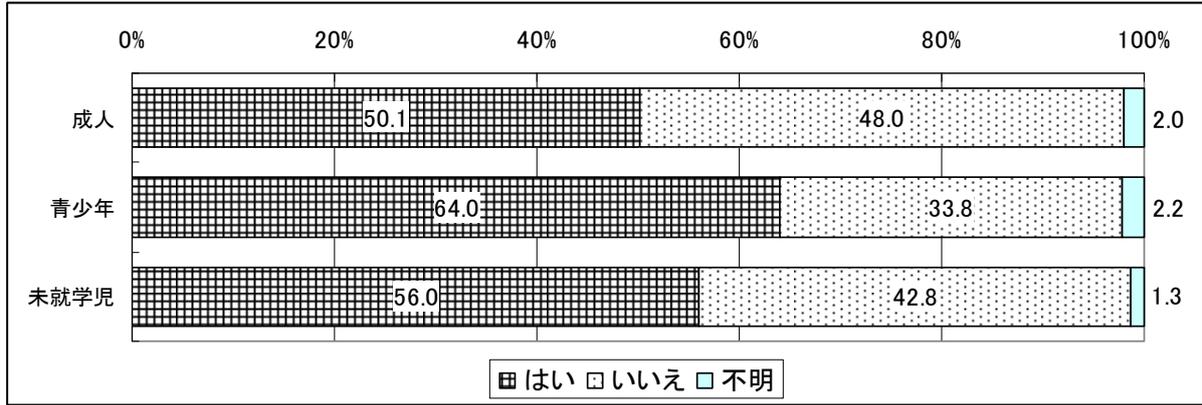
【食品の安全確保のための必要な行政対応】

- 成人・青少年・未就学児とも概ね同じ傾向にあり、最も多いのは「食品の抜き取り検査の強化」で8割前後を占めています。次いで「生産者、メーカー、小売店等での自主的な衛生管理の支援」が5～6割、「市民からの相談への適切な対応」が3割強となっています。

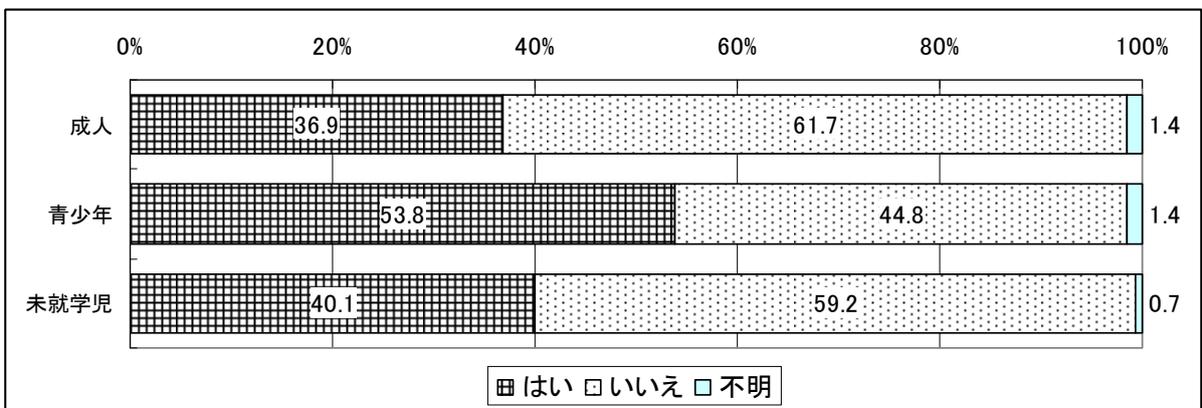
● 2009年の新型インフルエンザについての情報の入手先(MA)



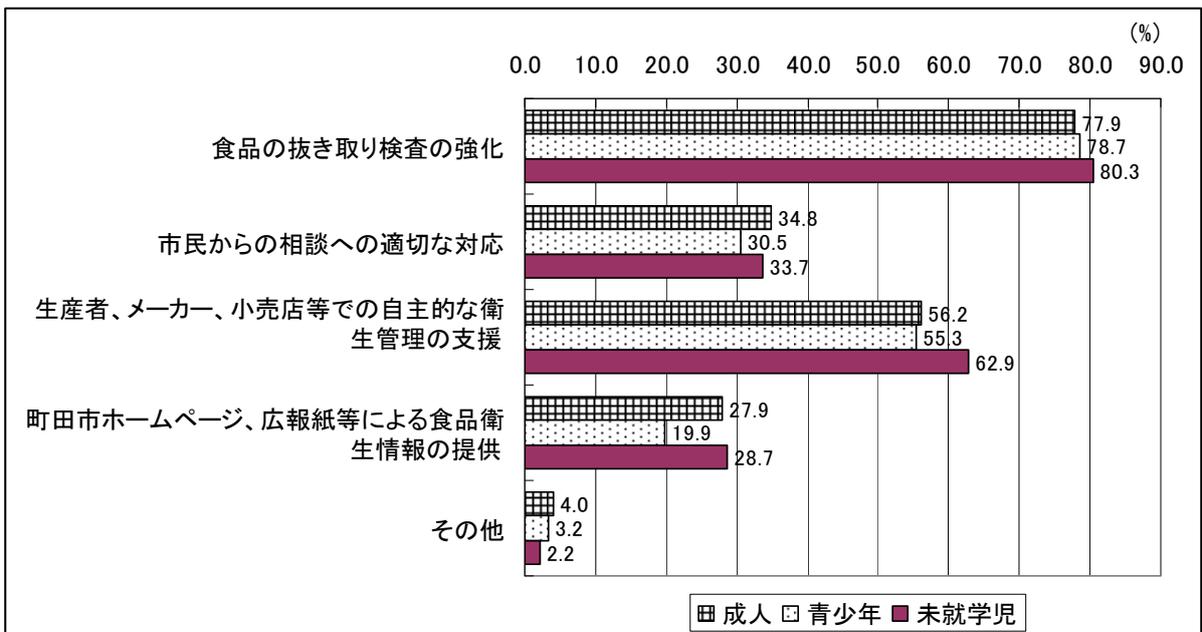
● 薬物問題への関心度(SA)



● 救命講習の受講経験(SA)



● 食品の安全確保のための必要な行政対応(MA)



9) 町田市の保健・医療への取り組みについて

【解説】

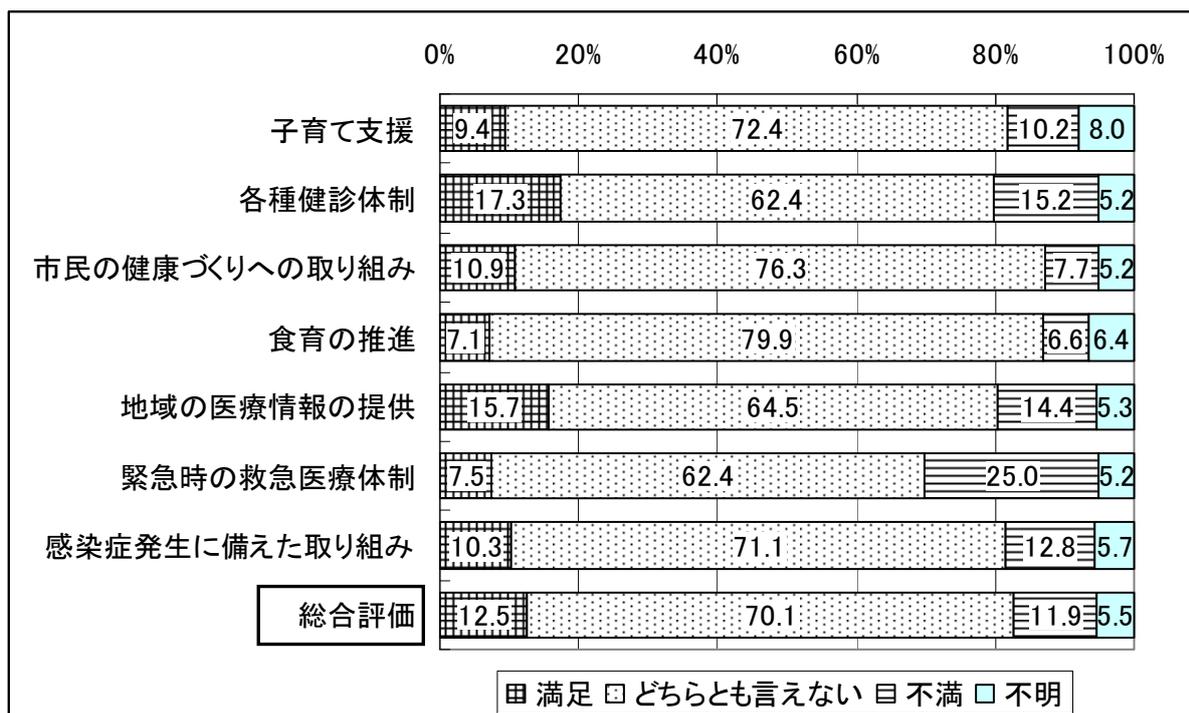
【総合評価】

- 成人・青少年・未就学児ともほぼ共通していて、「どちらとも言えない」が約7割で、「満足」と「不満」がほぼ1割強と同程度になっています。

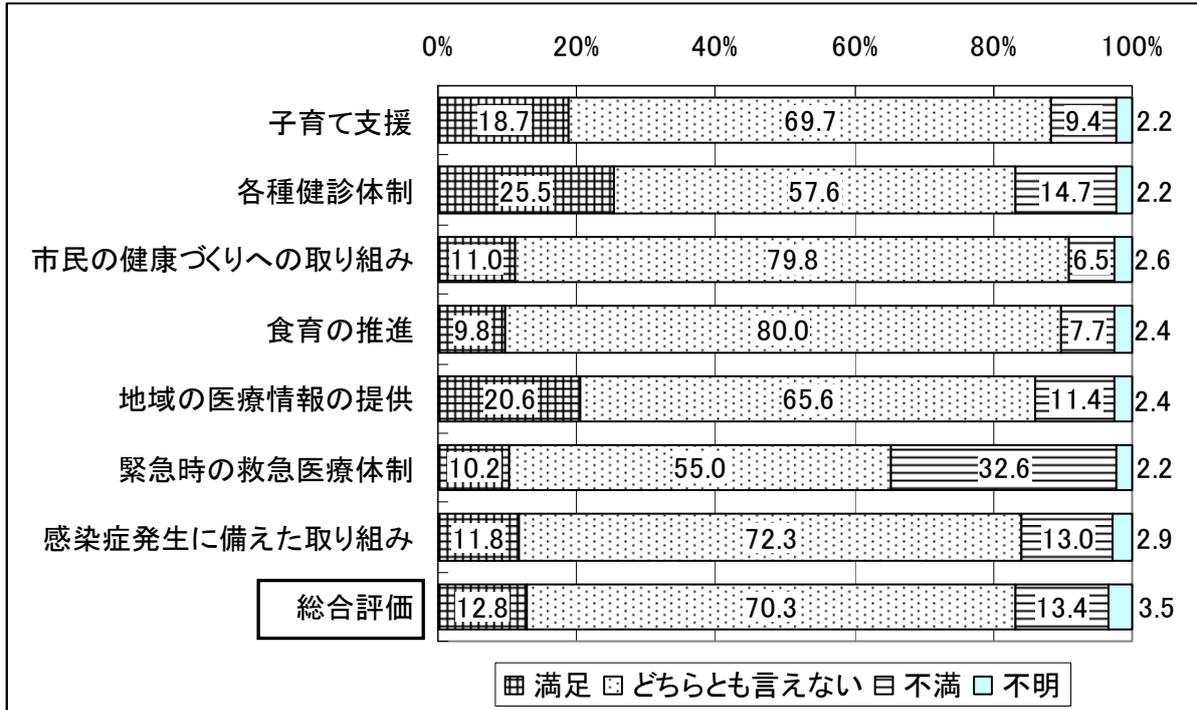
【個別評価】

- 個別にみた場合、「満足」の割合が最も多いのは成人・青少年・未就学児とも共通して「各種健診体制」となっています。成人では「満足」が17.3%ですが、青少年では25.5%、未就学児では34.9%となっており、子どもの年齢が低いほど評価は高い傾向となっています。
- 「子育て支援」については、「満足」という回答は成人では9.4%と1割足らずですが、青少年では18.7%、未就学児では29.9%となっており、これも子どもの年齢が低いほど評価は高い傾向となっており、未就学児でみると「満足」の割合は2番目の多さとなっています。
- 「地域の医療情報の提供」については、個別の中では満足度は高い方で、成人・青少年では2番目、未就学児では3番目に「満足」の割合が多くなっています。
- 逆に「不満」が多いのは、「緊急時の救急医療体制」で、「不満」の回答が成人では25.0%、青少年では32.6%、未就学児38.1%と、こちらは子どもの年齢が低いほど不満度が高い傾向がみられます。

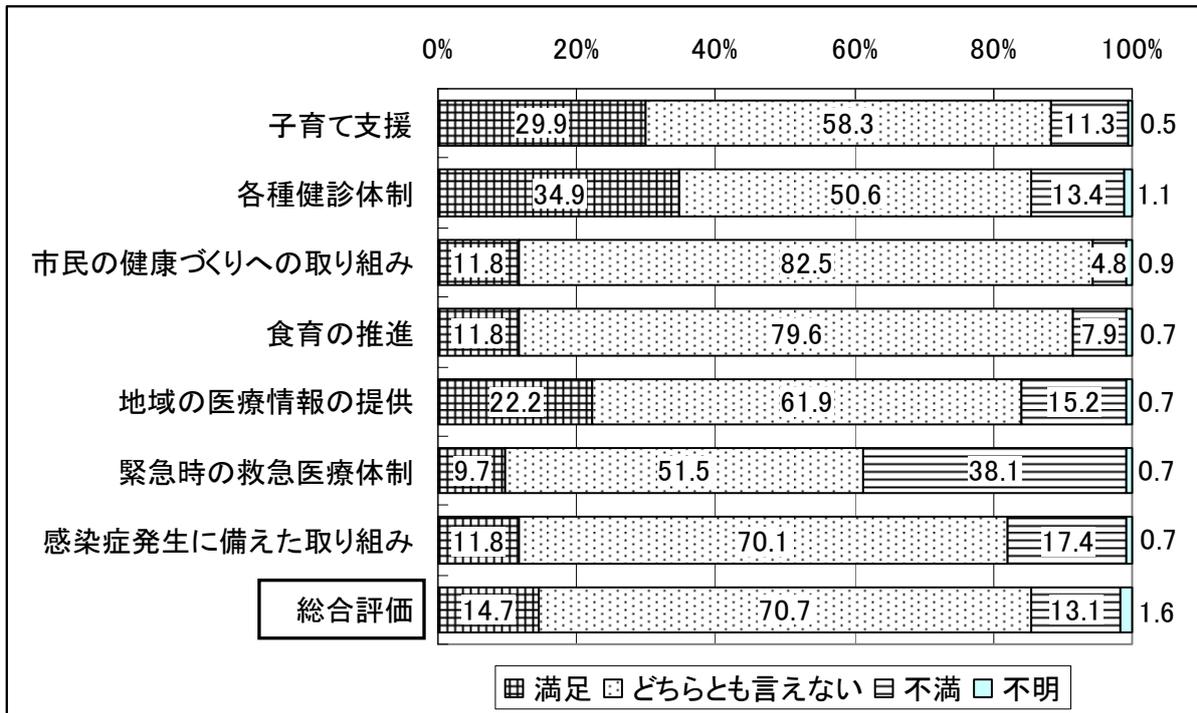
● 成人(SA)



● 青少年(SA)



● 未就学児(SA)



8. 前回調査との比較

現行計画で「達成目標（事業の指標）」（P48～53）として掲げられた項目のうち、前回の意識調査結果が基準指標となっているもので、今回の調査と比較できるものの一覧を示しています。

注1：「種類」で「未就」は未就学児の意識調査で、前回調査の「小児用」に該当するもの。

注2：「今回」のところの  は指標が良化しているもの。

項目	種類	単位	前回	目標	今回
1. 必要な情報やサービスの提供					
たばこを吸う・やめたと回答した母親で、妊娠中に喫煙していた人の割合（吸っていた・減らした）	未就	%	29.4	0	19.4
たばこを吸う・やめたと回答した母親で、授乳中に喫煙していた人の割合（吸っていた・減らした）	未就	%	31.6	0	19.3
子どもの受動喫煙防止を心がけている人の割合	未就	%	78.3	100	63.3
アルコール飲料を飲む母親で、妊娠中も飲んでいた人の割合（飲んでいて・減らした）	未就	%	27.1	0	13.8
アルコール飲料を飲む母親で、授乳中も飲んでいた人の割合（飲んでいて・減らした）	未就	%	32.4	0	19.9
市の検診結果がその後の生活改善や自分の健康状態を知るうえで役立っていると考えている人の割合	成人	%	90.9	増	85.9
睡眠による休養が十分取れている人の割合	成人	%	52.8	増	50.8
悩み事がある場合、近くに相談相手がいない人の割合	成人	%	12.3	減	8.0
いつもうす味の食事を心がけている人の割合	成人	%	44.9	増	43.3
いつも朝食をきちんと食べている人の割合	成人	%	77.5	増	74.7
いつも腹八分目の食事に行っている人の割合	成人	%	44.5	増	38.0
いつも夕食後寝るまでの間に夜食や間食を控える人の割合	成人	%	56.0	増	50.6
いつも栄養分表示を参考にしている人の割合	成人	%	14.4	増	16.0
いつも栄養バランスやエネルギーを考えて食事をする人の割合	成人	%	39.0	増	36.5
体重コントロールを心がけていない人の割合	成人	%	21.5	減	17.5
いつも1日最低1食、きちんとした食事を2人以上で楽しく、30分以上かけて食べる人の割合	成人	%	46.7	増	42.2
1日の野菜の摂取量	成人	グラム	186	350以上	183
緑黄色野菜の1日の摂取量	成人	グラム	73	120以上	71

項 目		種類	単位	前回	目標	今回
健康のため意識的に身体活動・運動をおこなっている人の割合	成人	%	52.5	増	48.7	
健康のため意識的に身体活動・運動をおこなっている人のうち、週3日以上行っている人の割合	成人	%	34.6	増	37.0	
30～50歳代男性の肥満（BMI 25以上）の人の割合	成人	%	29.3	減	33.6	
20歳代の女性のやせ（BMI 18.5未満）の人の割合	成人	%	28.1	減	15.8	
2. 地域の協力体制づくり						
かかりつけ医を決めている市民の割合	成人	%	65.5	増	61.9	
かかりつけ医を決めている市民の割合	成人	%	88.0	増	91.4	
かかりつけ歯科医を決めている市民の割合	成人	%	71.2	増	61.9	
かかりつけ薬局を1か所に決めている市民の割合	成人	%	28.6	増	24.1	
お薬手帳を持っている人のうち、活用している市民の割合	成人	%	57.1	増	60.6	
今住んでいる地域が好き、あるいは愛着を持っている人の割合	成人	%	61.1	増	67.0	
地域で活動している人の割合	成人	%	25.3	増	19.4	
健康のため意識的に身体活動・運動を行っている人のうち、仲間と一緒にいる人の割合	成人	%	38.3	増	42.5	
3. 市民や関係団体と行政の協働						
地域で何かの活動をしている人の割合	成人	%	25.3	増	19.4	
普段の自分の健康状態が良い（とても健康・まあまあ健康）と思う人の割合	成人	%	50.2	増	54.2	
町田市内の医療機関の量や質などに満足している市民の割合	成人	%	9.8	増	9.3	
町田市内の医療機関の量や質などに満足している市民の割合	未就	%	11.5	増	12.0	